

平成26年度「スキルアップ研修」in国東

平成26年7月12日（土）
国東市アスト国東マルチホール



大分県防災活動支援センター

《総合訓練計画の立案》

一、事前に現状を知ろう

1. 自分の住んでいる地域の過去の災害を知ろう。

1) 災害の分類

①人為的災害...・火災、交通事故等

2) 自然災害

①台風 ②水害 ③崖崩れ ④地震 ⑤津波

3) 災害の規模

①家屋の倒壊 ②道路・河川の決壊 ③負傷者

4) 災害の発生時刻

①早朝、中間、夕方、深夜

2. 自分の住んでいる地域の地形を知ろう。

1) 地形の分類

①海岸部⇒高潮浸水、過去の津波被害

②山間部⇒土石流、崖崩れ

③造成地⇒地滑り

3. 人口構成

- 1) 人口分布率及び世帯数
- 2) 高齢化率（65才以上の比率）
- 3) ふれあい対象者（要援護者）の人数

4. 防災活動の歴史（補助組織も含む）

- 1) 防災会の歴史
- 2) 過去の防災訓練の教訓
- 3) 補助組織の役割
- 4) 防災リーダー（防災士の配置）

二、防災訓練の目的と規模

1. 防災訓練の被害想定と目的を明確にしましょう。
 - 1) 南海トラフでのM9の地震と大津波を想定する。
 - 1) 個別訓練...単独の訓練を行う場合
 - 2) 総合訓練...複数の訓練を組み合わせる場合。
2. 訓練参加人員の規模
 - 1) 参加規模の規模設定をする。
 - 2) 訓練内容での参加者設定をする。

三、過去の訓練の教訓

1. 地震が収まってから行動する。

1) 地震発生時は身を守る行動を実践する。

2. 訓練は実践を想定する。

1) 安易な訓練は大きな過ちを犯します。

① 訓練に想定外はありません。

・津波避難訓練は訓練の想定は少なくとも、被害想定^①の2倍で実践しよう。

・釜石東中学校の教訓⇒全員が助かる。

・鵜住居防災センター⇒避難者が命を亡くした。

2) 津波一次避難場所は安全な場所を選定しましょう。

① 地震で、避難路、避難場所が被害にあうことを想定しよう。

② 津波避難はより高い場所に避難をする。

3) 避難の呼びかけを工夫する。

① 正しい情報で、敏速な行動をする。

② 要援護者の方は避難の呼びかけに素直に応じます。

③ 消防団員は大きな声で避難を呼びかけ、自ら避難する。

四、訓練用資機材の確保

1. 自主防災会で調達できるもの。
2. 消防署（消防団）の要請するもの。
3. 自治体に要請するもの。

四、訓練に関する届書類

1. 防災訓練計画書
2. 防災訓練補助金申請書
3. 消防署へ職員派遣要請書

五、防災訓練計画書の策定

1. 自主防災会三役で協議＝基本計画策定
 - 1) 防災訓練日時を決めましょう。
 - 2) 防災訓練場所を決めましょう。
 - 3) 防災訓練のスケジュールを決めましょう。
 - 4) 防災訓練の規模、内容を決めましょう。

2. 防災士が細部計画を策定する。

1) 個別防災訓練⇒単独訓練の場合

2) 総合防災訓練⇒複数訓練の場合

- ①本部運営訓練、②情報伝達訓練、③本部・避難所設営訓練、
- ④避難誘導訓練、⑤要援護者避難支援訓練、⑥負傷者搬送訓練
- ⑦防犯警備訓練、⑧給食給水訓練、⑨初期消火訓練、⑩地震体験訓練、⑪応急救護訓練、⑫図上訓練（D I G）

3) 時系列の訓練シナリオを作成する。

3. 自主防災会三役で細部計画を再検討する。

1) 防災訓練の計画書確定

2) 実施計画書を消防署（予防係）、市役所（防災危機管理係）に提出する。

3) 訓練資機材の調達

4) 訓練補助金の申請

4. 自治会、自主防災会、民生児童委員、補助組織の代表消防団の合同で防災訓練実施会議開催する。

六、防災訓練当日の進行

1. 防災会役員は開始時間の一時間前に集合する。
2. 防災訓練の開始を告げる。
3. 防災会長の指示で訓練開始
4. 訓練シナリオに沿って防災訓練を実行する。
5. 避難者が確定した時点で「避難者確認集会」を開催する。
 - 1) 会長あいさつ⇒訓練の趣旨説明
 - 2) 各訓練実施内容を防災士が説明し、全体で確認する。
 - 3) 各訓練を実施する。
6. 全体の防災訓練が終了した時点で「防災訓練総括集会」を開催する。
 - 1) 会長あいさつ⇒訓練の講評
 - 2) 各訓練の責任者が実施報告を行います。
7. 「防災訓練総括集会」終了後、給食の配布をします。

8. 本部、避難所の撤収を行います。

1) 訓練資機材の点検と撤収を行います。

2) 撤収の分担を事前に決めておきます。

9. 会長が役員のみなさんへお礼と終了宣言を行います。

七、訓練後の作業

1. 訓練補助金関係

1) 市役所（防災危機管理係）へ訓練実施報告書を提出する。

八、訓練後の総括

1. 反省会の開催

2. 訓練アンケート集計

ご静聴ありがとうございました

ございました。